

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年6月16日 NO.26 (126)



花ちゃん 「あれあれ？みんな校長室の前（まえ）で何（なに）かしているね。」

オー君 「ほんとうだ。何をしているのかな。おいらたちも見に行こう。」

花ちゃん 「みなさん。何をみているのですか。」

4年生 「ファールを見ているんです。」

オー君 「ファール？ファールって、昆虫学者（こんちゅうがくしゃ）でしょ。
どうのこと？」

4年生 「花ちゃん・オー君、知（し）らないの。ファールというのは、この顕微鏡
（けんびきょう）の名前（なまえ）なんです。」

花ちゃん 「それが3つもあるんですね。落（お）ちないようにガムテープでとめてあり
ますね。ところで、みんなで何をみているのですか。」

4年生 「モンタ博士が、ぼくたちのためにモンシロチョウのたまごを見つけてくれて
それを顕微鏡で見やすくしてくれたんだ。」

オー君 「なーるほど。そうすれば、拡大（かくだい）できて、とてもよく観察（かん

さつ) できるということですね。」

花ちゃん 「虫めがねや顕微鏡は、『科学の目』だと、いつもモンタ博士が言っていますもんね。私にも見せて下さい。」

オー君 「おいらも見るぞ。」

花ちゃん 「あ! たまごが見えるわ。ちょっと細長 (ほそなが) いんですね。」

オー君 「お! こちらの顕微鏡では、とっても小さな1令幼虫 (いちれいようちゅう) が、自分 (じぶん) の出てきたたまごの殻 (から) を食 (た) べているぞ。生 (う) まれたての幼虫は、まず殻を食べると本に書 (か) いてあったけど、本当 (ほんとう) なんだ。」

花ちゃん 「あれあれ、生まれたての幼虫がキャベツを食べているわ。でも、葉 (は) っぱがとても厚 (あつ) いから、葉っぱの上をなめるようにかじっていますね。」

オー君 「あ! それから、ウンコも見えるぞ。とっても小さいな。」

花ちゃん 「そうね。体 (からだ) が小さいから、糞 (ふん) も小さいのね。」

オー君 「そうか、幼虫の体が大きくなれば、ウンコも大きくなる。どのくらい大きくなるんだろう。調 (しら) べてみるとおもしろそうだ。よし! じっくりと観察してみるか。」

モンタ博士 「むかしある人が、たまごから幼虫になり、その後、成虫 (せいちゅう) になるまでにどのくらいのウンチを出すのか調べた人がいるそうだよ。いろいろと自分で不思議 (ふしぎ) に思ったことや、おどろいたことを調べると楽しいね。」

